

LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ) コントローラM EDL10011

施工説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。
 本器の取付けには電気工事士の資格が必要です。かならず専門業者のかたが施工を行ってください。
 この施工説明書と電源ボックスに付属の施工説明書をよくお読みの上、施工を行ってください。
 専用の電源ボックスと組み合わせてご使用ください。施工後は、かならずお客さまに取扱いの説明を行っていただき、
 電源ボックスに付属の取扱説明書と共にお渡しの上、保管をお願いしてください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、
 以下のことを必ずお守りください。

警告

- 湿度が高いところに取り付けない。
 火災や感電の恐れがあります。
- 改造しない。
 異常発熱や火災などの原因となります。
- 説明書に記載された電線を使用し、差し込み端子には電線穴に奥まで差し込む。
 指定外電線の使用や不十分な結線は機器の異常発熱・火災の原因となり危険です。

注意

- 本器は電源ボックス専用の操作器です。
 単独では使用できません。
 本器には照明器具を直接接続しないでください。
- アドレス・グループ設定用ディップスイッチ、リセットスイッチのお取扱には十分ご注意ください。
- 本器はかならずアース(FE)を接地してください。
 アースをしていないと誤動作する場合があります。

【仕様(定格等)】

品番	EDL10011
定格電圧	AC100V 50/60Hz
出力信号	DMX512
使用温度範囲	0~35℃(結露なきこと)
適合スイッチボックス	JIS 5個用 カバー付
適合電源ボックス	EDL10001K、EDL10002K、NQ79315K

【システムアップ構成】

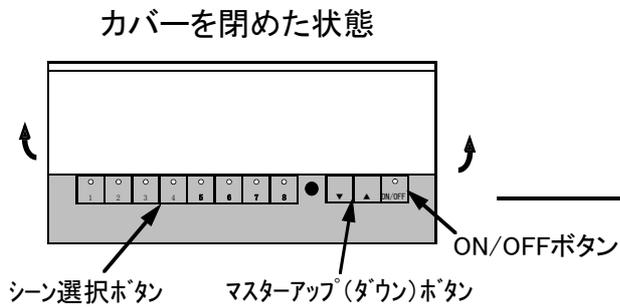
本器は、下図のシステムアップ子器と組み合わせてご使用いただけます。



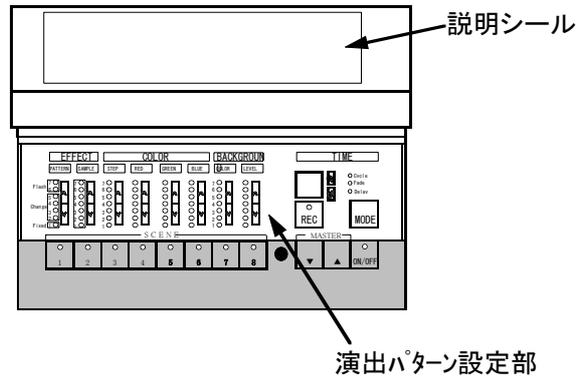
ワイヤレスリモコン操作器
(NK28658) (別売)

- 子器の組み合わせ可能台数は最大5台です。
 (タイマー子器は1台のみ)
- 組み合わせ可能子器は上図の3種類のみです。
 また、本器を2台連動させることはできません。

【各部のなまえ】



カバーを開けた状態

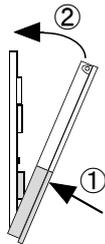


詳しい操作方法は取扱説明書をご参照ください。

【プレートの取付け方・はずし方】

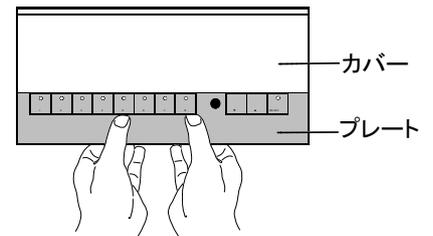
プレートの取付け方

- ①プレートの下部を先にはめ込んでください。
(シーン選択ボタンをプレート穴に入れる)
- ②プレート全体を押してはめ込んでください。



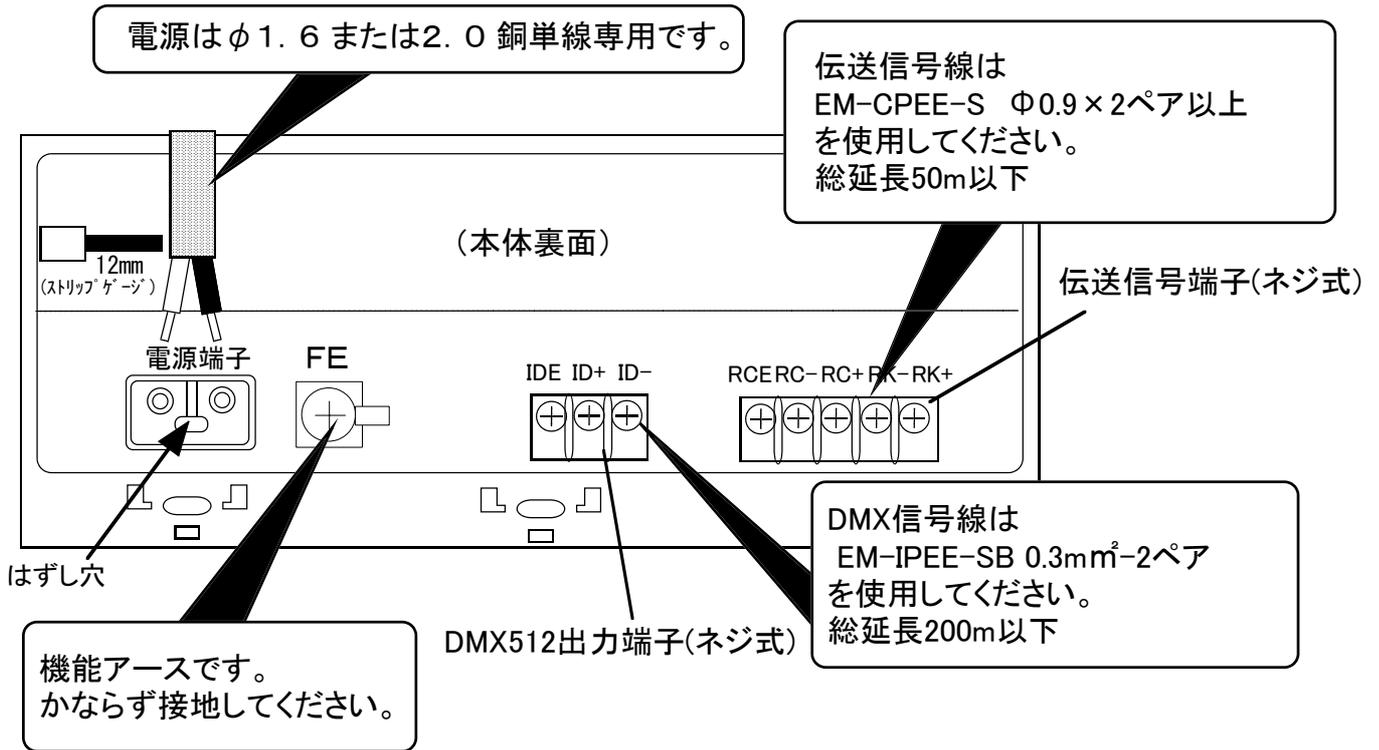
プレートのはずし方

プレートの下部を親指で押さえながら、手前にひいてください。

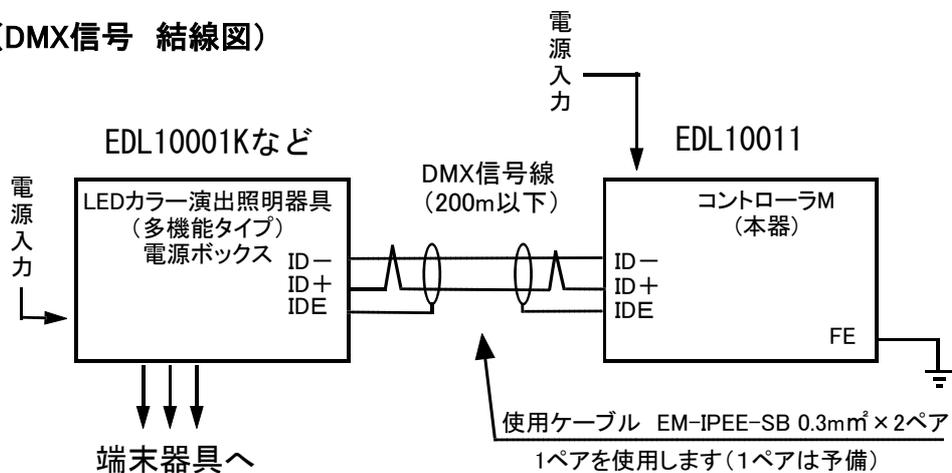


【結線方法】

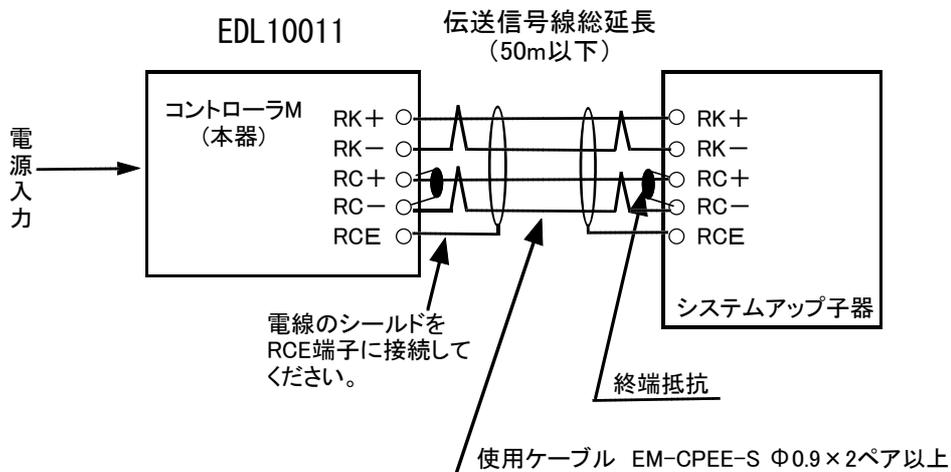
- ・適合電線は下記の通りです。速結端子穴に奥まで差し込んでください。
 電源端子(差込式) : 銅単線(WF、IV等)のφ1.6またはφ2.0×2心
 DMX信号端子(ネジ式) : EM-IPEE-SB 0.3mm²×2ペア(内1ペアのみ使用)
 伝送信号端子(ネジ式) : EM-CPEE-S Φ0.9×2ペア以上
- ・電源被覆のむきしろは背面のラベルのあるストリップゲージを利用してあわせてください。
- ・電源をはずすときは電線のはずし穴に電工ドライバー(中又は小)を十分にまっすぐ差し込んで電線を引き抜いてください。電線をはずす際、ドライバーを強くこじたり、回転させたりすると周辺の成形品が欠けることがありますのでご注意ください。



(DMX信号 結線図)

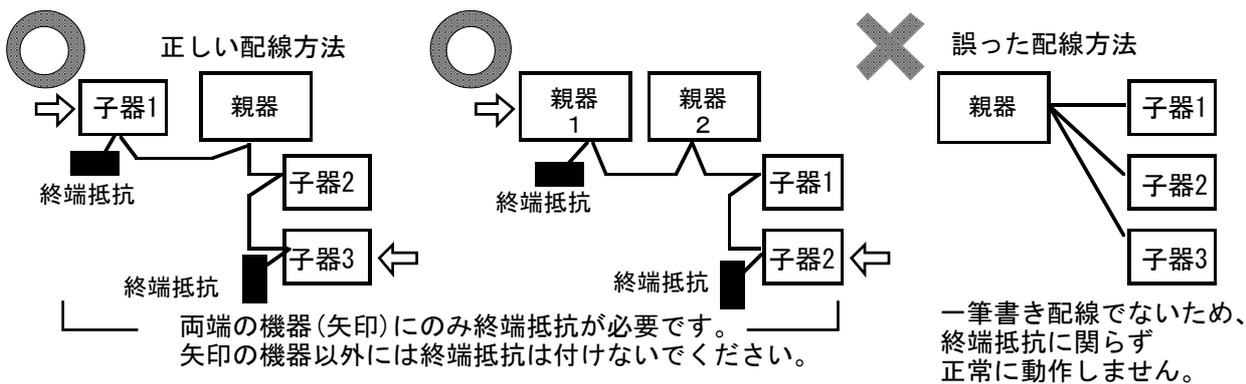


(伝送信号 結線図)



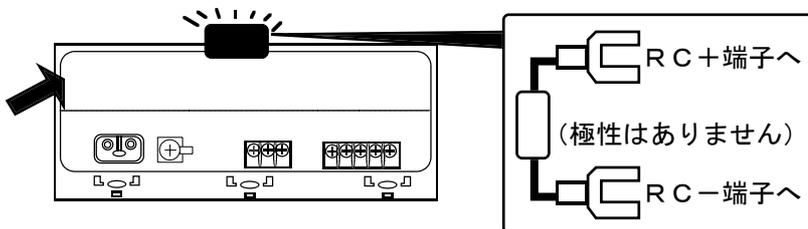
配線

- ・ 伝送信号線は、配線の両端の機器のRC+, RC-端子間に終端抵抗が必要です。
- ・ 伝送信号線は、一筆書き配線とし、ループ状にはしないでください。

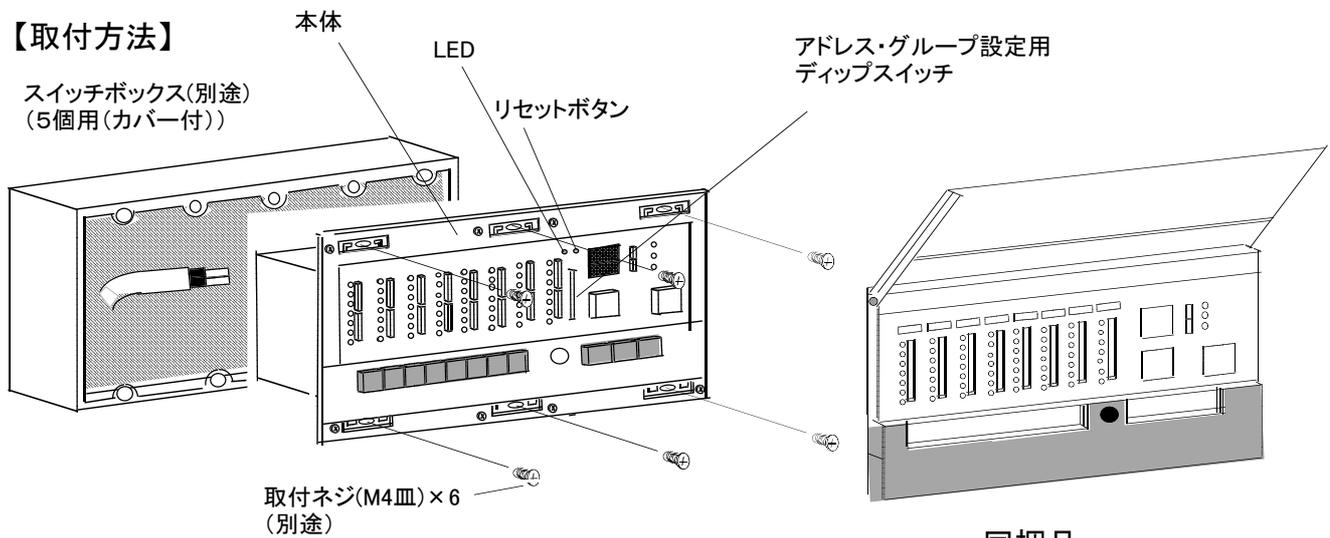


終端抵抗付属位置

終端抵抗は、箱を開けると、ビニール袋に入れて、本体の上部位置に貼り付けてあります。



【取付方法】



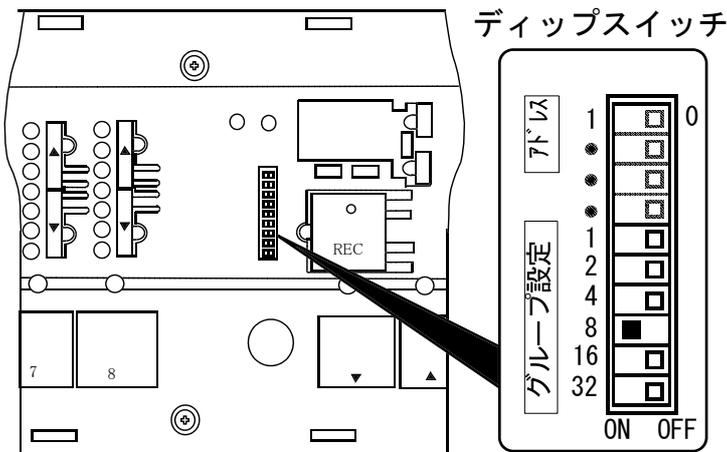
スイッチボックスは5個用(カバー付)をお使いください。
(はさみ金具は使用できません)

同梱品

施工説明書	1枚
取扱説明書	1枚
表示シール	1枚
終端抵抗	1コ

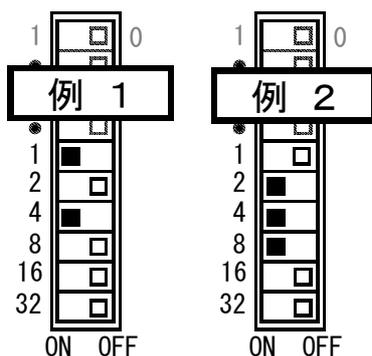
【グループ設定について】

グループ設定は本体のディップスイッチでおこないます。



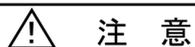
出荷時には「グループ設定」は「8」に設定されています。
かならず施工時に、グループ台数をディップスイッチにて設定してください。
ディップスイッチを設定するには、プレートをはずし細いマイナスドライバーで変更してください。

- ・グループ設定した台数置きに同じ動きをします。
- ・例えば全器具同じ動きをする場合は、グループ設定1です。
- ・レインボーで7台毎に演出を繰り返したい場合は、グループ台数7です。(但し器具台数は7台以上必要)
- ・接続器具台数と同じにすれば、全器違う色を出すことができます。(但し最大は63台)



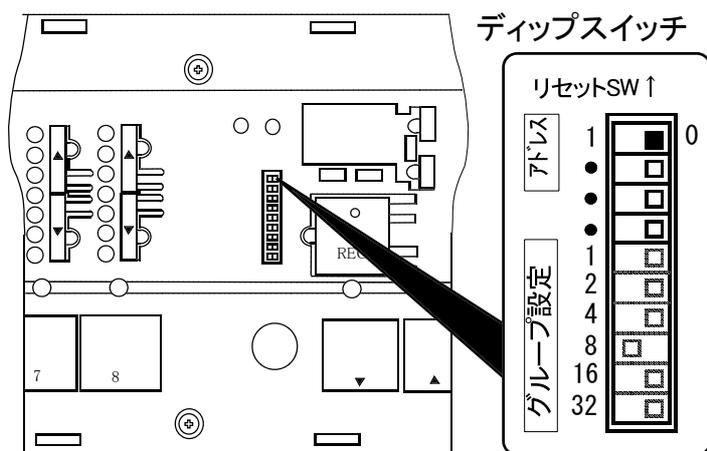
グループ台数は、ディップスイッチの数字を足した合計値になります。
左記例1は1+4で5台です。
左記例2は2+4+8で14台です。

【アドレス設定について】



注意

・アドレス設定は不要です。「0」の位置のままお使い下さい。



【機器のリセットについて】

万一、操作が効かなくなった場合は、ブレーカで電源を切って、再度入れ直してください。

電源を切ることができない場合は、プレートを外し、リセットボタンを精密ドライバー等で押してください。

一旦すべてのあかりが消灯した後、もとのシーンに復帰します。リセットをしても、記憶させたシーンの内容は消えませんが、稀にノイズの影響によって消えることもあります。

リセットボタン

